

会報

全員積極参加でロータリーを楽しもう!



2013.01.23. 第1044回例会 No.23-26 2013.01.30発行

【委員会報告】

司会 SAA・親睦委員会 菊池 敏
点鐘 会長 澄川 昇

ロータリーソング「我等の生業」
ソングリーダー 吉沢 洋景

お客様紹介 会長 澄川 昇
特別代表 由井 重光様

会務報告 会長 澄川 昇

2013年4月21日～26日に開催予定の国際ロータリー規定審議会への当地区代表議員に市川伊三夫パスト・ガバナーが選出されておりましたが、健康上の理由により辞退されました。

つきましては、RI細則8.050.3(代表議員およびその補欠議員が務めを果たせない場合、ガバナーは、地区内クラブの他の適格な会員を審議会における代表議員に指名することができる)により、新藤信之パスト・ガバナーを指名いたしましたとの、報告がありました。

幹事報告 幹事 荒瀧 義機

- ・配布:アンコール小児病院支援のご案内「SAKUJI」作戦入会候補者推薦用紙
- ・回覧:ハイライトよねやま154(訂正再送)、調布むらさきRC1996-97年度会長 渡邊剛男様お別れ会のお知らせ、アンコール小児病院パンフレット、東京多摩プロパスニュース第2回街美化キャンペーンについて
- ・他クラブ例会変更:東京調布むらさきRC、東京たまがわRC、東京神宮RC(事務局移転のお知らせ)

ロータリーの友の1月号の19ページにコーヒーの効用についてという記事がありましたのでお勧めいたします。

次年度会務報告 会長以外 萩生田政由

本日例会後第2回被選理事会を開催いたしますので次年度理事役員は出席をお願いいたします。本日は委員会組織を決定いたします、人数も限られていますので、皆さんにはご協力をお願いいたします。

出席報告 出席奨励委員会 吉沢 洋景

会員総数	34名
出席義務者数	24名
出席義務免除者	10名
出席者数 出席義務者 事前 MU1名	19名
出席義務免除者 事前 MU1名	8名
計	27名

出席率 27/31 = 87.10%
第1042回例会(1/9)訂正出席率 87.10%

ニコニコBOX SAA・親睦委員会 三田みよ子

- 澄川 昇 由井さんようこそ、津守さん卓話よろしく
お願い致します。
- 荒瀧 義機 津守さん卓話楽しみです よろしく
お願い致します。由井特別代表ようこそ
いらっしゃいました。
- 足立潤三郎 津守さん卓話楽しみです。
- 萩生田政由 津守様本日の卓話
楽しみにしています。
- 伊澤ケイ子 由井先生ようこそ
津守さん卓話楽しみです。
- 菊池 敏 今日の卓話、
楽しみです。
- 宮村 宏 津守さん卓話
楽しみです。
- 中谷 綾子 津守さん卓話
楽しみです。
- 齋藤 誠壽 津守ご住職
卓話宜しくお願い致します。
- 津守 弘範 今日の卓話
よろしく。
- 海野 榮一 津守さん卓話
よろしく申し上げます。

本日の合計 ¥15,000 (累計 ¥584,399)

その他委員会

多摩市街美化キャンペーン

大松 誠二会員

回覧で回っております多摩市街美化キャンペーンが4つの駅で開催されます、市民団体の方も大勢参加いたします。大勢の参加をよろしく申し上げます。

実施日時及び場所

2月5日(火) 16時00分~17時00分

多摩センター駅周辺

2月6日(水) 16時00分~17時00分

永山駅周辺

2月12日(火) 16時00分~17時00分

唐木田駅周辺

2月13日(水) 16時00分~17時00分

聖蹟桜ヶ丘駅周辺

当日は集合場所にのぼり旗を立てておきます。

開始10分前までにお集まりください。

雨天の際は中止になる場合があります。

いずれも状況によっては、終了時間が早まる場合もあります。

アンコール小児病院(継続)支援プロジェクト

委員長代理 海野 榮一



お手元に会員の皆様へのご案内ということでアンコール小児病院支援のフレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーの入会申込書を配布しております。

皆様には是非 を付けていただきご協力をよろしくお願いたします。

受付は本日より開始しておりますのでお願いします。

卓話者紹介

プログラム委員長 齋藤 誠壽

本日は多摩の生き字引とも呼ばれている津守ご住職様に仏教論的視点、歴史的視点でお話ししていただきます、津守ご住職よろしくお願いたします。

卓話「多摩のよもやま話」

津守 弘範会員



今日は仏教の話しと地域の話をしたいと思います。

仏教の健康

仏教では健康についてどの様に考えているか。

健康に一番悪いのは、それは生きることです。生きていることは必然的に健康を損なうことです。それを悟

ったのがお釈迦さまです。四つの門を出る時に 東の門でみすばらしい老人と出会い将来の老いを感じ、南門で醜い姿の病人を見て将来の病気を感ず。西門で死者を見て人生の死の確認をし、北門で沙門(僧侶)と出会い清々しい姿の出家の決意をしました。

仏教に於いて健康というものは基本的にはおごり、若さ、生きていることもおごりである。

結局は健康にはこだわらな、つまり「こだわり」を捨てておおらかに生きよ。肉体の頑健さだけを考える現代人にたいする忠告である。どんどん健康になるのでは無く、歳を取るにつれて健康が損なわれていくのが現実でやがて病で死んでいく、それを生老病死それが四苦といひます。その四苦に愛別離苦(あいべつりく) - 愛する者と別離すること、怨憎会苦(おんぞうえく) - 怨み憎んでいる者に会うこと、求不得苦(くふとくく) - 求める物が得られないこと

五蘊盛苦(ごうんじょうく) - 五蘊(人間の肉体と精神)が思うがままにならないことの四つの苦(思うようにならないこと)を合わせて八苦と呼びます、これを四苦八苦といひます。

みながその四苦八苦を味わい死んでいくという一生です。

仏教の目的

一、仏教の目的は涅槃に到達すること、涅槃に向かって行することの努力。涅槃とは煩悩を断じて絶対的静寂に達した状態をいう。

二、仏教思想が民間信仰、神道・儒教・道教など習俗思想と一体となって仏教の名の下に行われていることも多い。元来、葬儀は儒教の形式からである。

中国・朝鮮との関係

百済と新羅の戦争

大和朝廷の時朝鮮半島では百済と新羅が戦争、660年、負けた百済を大和朝廷は引き受けた。その人達は奈良・京都には住むことは許されず、関東の多摩川より北に住ませた。その時の地名が「田園調布・調布・砧・狛江・福生・青梅・越生・高麗」等である。

その時代の中国は唐で、百済の人達と共に来た。その人達は多摩川の手前に住んだので唐木田・唐津山・平戸などの名前が残っている。

乞田・瓜生・馬引沢・貝取

乞田：第三小学校の先の愛宕交番から乞田川の橋に「釜沼橋」というバス停がある。この沼を田んぼにして乞うて、戴いたので乞田という。

瓜生：江戸時代の元禄ごろは宇宙の宇に蛇の龍と書いて「宇龍」と呼ばれていた。いまの瓜生緑地の以前地形は遙か下に水があり龍が出そうな処であった。

馬引沢：乞田の釜沼の水が多摩川まで注いでいた、さらに、その昔馬に乗って通ることができず、馬を引いて通ったことによる。

貝取：奈良時代以前ころ東京湾の満ち潮が多摩川を上ってきていた。そこで貝が取れたので貝取とした。それは多摩ニュータウン造成の時に貝塚が発見されたことに表れている。

お礼と点鐘

会長 澄川 昇

(今週の担当:柴崎 信洋)